

研究計画書

1. はじめに

A病棟では2020年8月より倫理観を養うこと、倫理カンファレンスを定着させることを目標に、実際に関わった患者の事例をテーマに、倫理カンファレンスに段階的に取り組んできた。

昨年度はスタッフが倫理カンファレンスの経験がないことから、倫理カンファレンスに興味関心をもてることを目標にした。主任は医療や看護場面において、スタッフからの倫理的な悩みと思われる言葉を聞き逃さず、スタッフの話に耳を傾け、生じているジレンマの問題を分析し倫理カンファレンスのテーマを検討した。ジョンセン4分割表の作成、カンファレンスのファシリテーターは主任が担った。スタッフにはジョンセンの4分割表に慣れて、倫理カンファレンスに参加者全員が同じ立場でディスカッションしながら患者のQOLを考えることが経験できるように関わった。

今年度、次の段階としてスタッフ自らがジョンセンの4分割表を用いて情報の整理ができ倫理カンファレンスのテーマを検討できること、現在入院中の患者の倫理的な悩みでリアルタイムに倫理カンファレンスを開催し、患者のQOL向上に貢献できることを目標とした。継続教育部主催のラダーII「看護倫理」を受講したスタッフが、倫理カンファレンスに取り組めるように主任が支援した。スタッフがジョンセンの4分割表を作成し情報整理を行い現状把握ができたか、倫理的論点がどこにあるのかをスタッフが考えることが出来るように支援した。スタッフの内在している倫理的な悩みをできるだけ言語化できるように関わった。倫理カンファレンス開催においては、多職種参加を推進し、患者にとっての最善を検討できるようにした。

今回、スタッフへのアンケート調査を行い、この2年間の倫理カンファレンス定着への取り組みが、倫理カンファレンスに参加したスタッフにどのように影響を与えてスタッフの倫理観を養うことができたのかを明らかにし、今後の倫理カンファレンスの定着と発展に向けて改善策を検討する。

2. 研究目的

- ①倫理カンファレンスに参加したスタッフの自己の変化を明らかにし考察する
- ②倫理カンファレンスに事例提供やファシリテーターを経験したスタッフの意見をもとに考察する
- ③倫理カンファレンスを行う上での課題を明確にし、今後の倫理カンファレンス定着に向けて改善策を検討する

3. 研究意義

看護師が倫理カンファレンスを経験する前、倫理カンファレンスを経験してからの意識の変化を調査することは、どのように看護師の倫理観が養われているかを把握することができる。

また、倫理カンファレンスを行う上での課題を明確にすることは、これから主体的に倫理カンファレンスを行ううえでの開催方法を検討することができる。

4. 研究方法

- 1) 対象：JA 広島総合病院東3階病棟（以下 A病棟）に所属する看護師 31人
- 2) 研究期間：2021年11月～2022年3月まで
- 3) 実施場所：JA 広島総合病院 東3階病棟

- 4) 調査方法： 独自に作成した無記名選択式の質問と自記式アンケート調査
- 5) 分析方法： アンケートは量的データを記述統計し、関係性がないか検定を行う
自由記述は、文章を意味あるまとまりごとに抽出（質的手法）し分析する
- 6) 調査内容： ①基本属性：年代、臨床勤務年数、A病棟勤務年数、倫理カンファレンス参加の有無と回数、倫理カンファレンス開催の有無と回数、学生時代に「看護倫理学」の履修の有無、卒後看護倫理の研修の経験の有無
②倫理カンファレンスに参加したスタッフが倫理観を養えたかどうか
③倫理カンファレンスに事例提供やファシリテーターを経験したスタッフの意見調査

5. 倫理的配慮

プライバシーや個人情報の保護（無記名）

研究目的以外には利用しないこと

研究対象者の参加は任意であること、非参加でも何ら不利益を受けないこと

いつでも研究参加を撤回できること

研究の意義・目的・方法・期間、成果を学会で発表することを説明する

倫理審査委員会の承認を得て対象者に本研究の趣旨と方法を説明し、アンケートを実施する

資料やデータは、鍵のかかる引き出しに保管し、5年間管理後にシュレッダー等で破棄する

（パソコンにあるデータは閲覧できる人を制限するためにロックする）

6. 参考文献

- 1) 浦出美緒 他：教育・臨床現場での倫理カンファレンスの普及に向けての取り組み. 日本看護倫理学会誌. 2018 ; 10 (1) : 84-87
- 2) 佐藤房江 他：倫理カンファレンスを通して見えてきた課題. 精神科看護. 2015 ; 42 (10) : 016-021
- 3) 中馬夕佳, 山下早苗. 実践報告：臨地実習における倫理カンファレンスでのファシリテーター役割. 日本看護倫理学会誌. 2016 ; 8 (1) : 78-80
- 4) 脇丸夕佳, 八代利香. 倫理カンファレンスにおける看護師のファシリテーションスキル. 日本看護倫理学会誌. 2019 ; 11 (1) : 40-49
- 5) 田代志門. 臨床倫理サポートの新しい流れ. 看護管理. 2019 ; 29 (8) : 702-737